

円滑なインターネット利用環境の確保に関する検討会（第1回）
＜藤本構成員 提出資料＞

- 最近のインターネット攻撃の増大は深刻で、未知の部分が多いため新たな取り組みが必要。
- 消費者のセキュリティ意識をどのように醸成するかが重要。自分を守るというモチベーションがあったPCのセキュリティと異なり、安全・安心な社会のために踏み台になりにくいIoT機器を選ぶ、といった消費者の意識形成には工夫が必要。
- 関係する事業者も多様化・複雑化してくるので、リスクコミュニケーションが重要になる。
- IoTやAIを活用した新しい社会を形成していく過程では、柔軟な制度設計が必要になるが、それを混乱やイノベーションの阻害を生まない形で実現することが望ましい。

以上